

ハイビスカス・・・アオイ科 別名：ブツソウゲ 非耐寒性常緑低木

ハイビスカスの育て方

■年間作業カレンダー

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
開花後					← 開花 →							
置き場	← 室内 →			← 戸外 →				← 室内 →				
管理	← 表土が乾いたら灌水 →			← 水切れ注意 →				← 乾かしぎみ →				
肥料				← →								

熱帯花木として有名なハイビスカスは、フヨウやムクゲと同じ仲間です。花色が豊富で、花の咲き方も、一重、半八重、八重とあります。品種は在来系、ヨーロッパ系、ハワイ系に大別されています。



管理法

■水やり

春と秋：表土が白っぽく乾いたら与えます。

夏：毎日朝夕2回与えます。

冬：10度以下では乾かし気味にし、5度で休眠します。そのため冬はほとんど与えません。

■肥料

4月から10月に化成肥料か、骨粉入りの醗酵アブラカスの固形を1ヶ月半から2ヶ月の1回施します。

■置き場所

年間を通じ、十分に日光の当たる場所に置きます。

初夏～初秋：戸外の風通しのよい所。

(日本の夏は暑すぎるため、一時花を休める場合があります、この時期花数が少なくなります)

晩秋～冬：室内に入れ、10度以上に保てる場所に置くと11月でも花を咲かせます。

冬越しの最低気温は、品種によりますが3度前後です。

※寒さで葉が落ちて木が生きている場合がありますので、春まで待ちましょう。

■植え替え 時期：5月から6月

ハイビスカスは生育が旺盛ですので、毎年植え替えが必要です。

1.

根から株を抜き、根鉢を3分の1から4分の1程ほぐし、傷んだ根があれば取り除いてから植え替えます。



MEMO

根鉢

根が蜜に集まり、土を維持している部分。

2.

植え替え後、風の当たらない明るい日陰に置き、鉢土が乾いたら水を与えます。新芽が伸びてきたら光線に慣らし行き、十分に伸びたら通常の管理にします。

■剪定

各枝を2分の1から3分の1程残して切ります。切る時は葉柄のつけ根にある脇芽のすぐ上で切ります。

(ハイビスカスの鉢は、矮化剤がきいている場合があります。その場合、翌年に行ないます)



■さし木について

充実し、よく伸びた枝先を8～10cm程切り発根促進剤をつけて挿します。そしてたっぷり水を与え、日陰で管理します。その後、土の表面が乾かないように水を与えます。1～2ヶ月で発根します。

※品種により挿し木が容易なものと、接木で増やしたほうが良い品種があります。

